

DLB診療における DATイメージングの役割

日時 2015年10月3日(土)
11:50~12:50

会場 第6会場 ホテル青森3階 あすなるA・B
青森市堤町1丁目1-23

座長

下村 辰雄 先生

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター 副センター長

演者1

DLB診療におけるドパミントランスポーター
イメージングの有用性

清水 聡一郎 先生

東京医科大学 高齢総合医学講座 講師

演者2

認知症診療における画像診断

～脳血流シンチとドパミントランスポーターシンチ～

織茂 智之 先生

公立学校共済組合 関東中央病院 神経内科部長

本学術集会のランチオンセミナーは整理券制です。

■配布時間:8:00~10:30(当日開催されるセミナー分のみ発券)

■配布場所:リンクステーションホール青森 1F 玄関ホール

※整理券はセミナー開始5分をもって無効となります。

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、日本核医学会の分科会として、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的として平成12年11月3日に発足しました。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科など臨床診療に携わる医師、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、さまざまな課題に対応するために、ワーキンググループを設置して議論を深めていく予定です。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。

この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

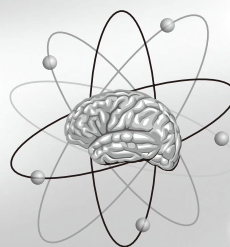
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN